

厚生病院だより

# ほほえみ

広報誌

第87号

2024 1. 1

## Topics

- 院長の新年の挨拶
- 市民公開講演のお知らせ
- がん相談支援センターについて
- 患者満足度調査
- 健診室移転後アンケート



PHOTO: 川内八幡宮

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号  
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170  
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



# 新年の挨拶



## 「変化の時代に生き残る」

かとう ひろゆき  
院長 加藤 広行

皆様、明けましておめでとうございます。今年の新年は、いかがお過ごしでしたか。

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月より季節性インフルエンザと同様な「5類感染症」に移行し、その結果、従来の「全数把握」による感染者数の発表が中止となり、マスメディアによる報道も少なくなりました。そして多くの制限が緩和され通常の日常生活に戻りつつありますが、完全な収束ではないことやインフルエンザ感染症の増加などのため、個人の感染対策は継続していただきたいと思われまます。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、当院は令和5年4月1日付けで桐生地域医療組合は地方公営企業法の全部適用に移行し、『桐生地域医療企業団』に変更となりました。病院事業に関しましては、桐生市みどり市で構成される2次保健医療圏における唯一の公立病院であることに変わりなく、診療体制や治療内容も特に変化がなく、今まで通りに受診や治療ができるので、安心してご利用いただければ幸いに存じます。病院内では、外来患者さんの利便性の向上と待合の環境改善のため、令和5年4月より正面入口右手にコンビニを開設し、飲食可能なスペースを設置しました。更に医師の働き方改革ならびに診療の専門性向上、待ち時間の改善などを鑑みて、内科の初診紹介患者に対し完全予約制を導入し、そのほかに訪問看護室やヘルニアセンターの設置、人間ドックおよび健診室を8階に移設などを実施しました。今後は、市民の皆様理解しやすく、身体にやさしい高度な医療を提供できるよう、脊椎センターの設置や手術支援ロボットの導入などを目指しております。

現在、医療を取り巻く環境は、様々な課題が同時多発的に生じている状況であります。人口減少と少子高齢化に伴う2025年問題(※)などの社会保障制度の問題に加え、医師偏在に伴う医師不足問題、医師の働き方改革(2024年施行)、診療報酬の改定(2024年)、財政の危機などの社会的・経済的な課題が深刻化することになるでしょう。このように時代が大きく変化する中で、当病院がどのような医療体制を目指すべきか、どのように生き残るべきかが重要な課題であります。桐生市みどり市に存在する唯一の公立病院の使命として、変化の時代に生き残れる、つまり持続可能な医療提供体制の確保を目指したいと考えております。

今年も職員一同、皆様のご期待にお応えできるよう診療体制の構築に向けて、迅速かつ丁寧な医療サービスを誠心誠意提供して参りたいと存じます。今後も、当院への変わらぬご理解ご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

※2025年問題とは、団塊世代(1947~1949年生まれ)が75歳以上の後期高齢者となることで起こる、社会保険費の負担増や働き手不足などの問題のことをいいます。

# がん相談支援センターを知っていますか？

当院は地域のがん診療連携拠点病院として国から指定を受けており、がん相談支援センターを設置しています。がん相談支援センターとは、無料で利用できるがんの相談窓口です。がんの医療的な情報や公的な制度の紹介をはじめ、症状との付き合い方、治療と生活の両立、経済的な悩みなど、幅広い相談を受けています。がんという病気そのものが無くなるわけではありませんが、悩みを話したり、正しい情報を得ることで不安な気持ちが落ち着くこともあります。

当院では、研修を受けた看護師・社会福祉士・心理士が相談に対応しており、守秘義務は厳守いたします。相談内容を主治医に伝える必要がある場合には、相談された方の同意を得たうえで対応しますのでご安心ください。病気のこと、生活のこと、お金のこと、仕事のこと…がん相談支援センターでは一緒に考えていきます。予約は不要ですので、お気軽にお立ち寄りください。



相談室の様子

## 例えばこんな相談

- 自分の病気について知りたい
  - セカンドオピニオンを受けたい
  - どの治療を選んだらいいのか迷っている
  - 治療費が心配
  - 抗がん剤の副作用や対処法が知りたい
  - 同じがん患者さんから話を聞きたい
  - 在宅療養や介護について相談したい
  - 医療用かつらなどの外見ケアについて聞きたい
  - 緩和ケアについて知りたい
  - 主治医の先生に聞きたいことが聞けない
  - 仕事や学業と両立できるか心配
  - 家族や友人に病気のことをどう話せばいいか悩む
  - 妊孕性(妊娠する力)について聞きたい
  - なんとなく不安、話を聞いてほしい
- …など

## 相談できる方

がん患者さんをはじめ、家族や友人など、どなたでも他院で治療を受けている方や、匿名での相談も可能です

## 相談方法

電話相談 / 対面相談 / メール相談(相談無料)

## 受付時間

平日8時45分～17時30分(年末年始を除く)  
予約不要



地域医療連携室前や外来の休憩コーナーではがんに関する資料を設置しています

相談支援センター(病院1階地域医療連携室内)

TEL.0277-44-7165(直通) / E-mail: soudan01@kosei-hospital.kiryu.gunma.jp

# 8階健診室移転後のみなさまのご意見について

桐生厚生総合病院健診室では令和5年9月に2階からの移転に伴い、より良いサービスを皆様にご提供できるよう、アンケート調査を行いました。アンケート結果の概要を掲載させていただきます。ご協力ありがとうございました。

※アンケート結果を参考によりよい健診室を目指します。

● アンケート回収枚数：総計 104 枚

● アンケート実施期間：令和5年9月

## 回答いただいた患者さんの年齢

■ ~19歳 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代  
■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代 ■ 90歳~



※回答者の年齢は、60歳代が最も多く31%を占めました。40歳代・50歳代・60歳代の合わせた割合が全体の76%を占めました。

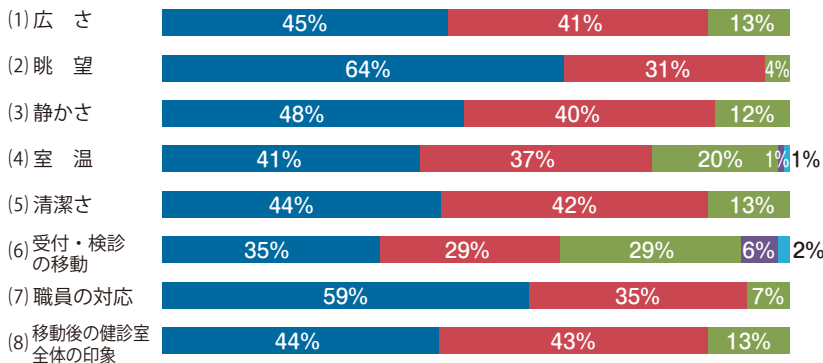
## 当院健診の利用回数

■ はじめて ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 4回目 ■ 5回目以上



※5回目以上の受検者の割合が55%と全体の半数以上を占め、またはじめての受検者も16%を占めました。

## 移転後の健診室の環境について



※移転後の健診室の環境について、概ね良好なご意見をいただきました。受付・診察・検査の移動については、悪い以下の回答が8%ありました。



健康づくりを応援します。

# 桐生厚生総合病院 第28回 市民公開講演

## がん治療の最前線

開催日

令和6年

3/9 土

時間 / 14:00 ~ 16:00

場所 / 美喜仁桐生文化会館 スカイホール

参加費 無料

\*新型コロナウイルス感染症等の感染状況によって変更がございます。詳細は当院ホームページをご覧ください

### プログラム

司会

副院長兼感染対策室長兼外科部長

森永 暢浩

演題1

「胃がんの最新治療」

外科部長

緒方 杏一

演題2

「最新のがん医療のあり方について~皆さんに知っておいていただきたいこと~」

独立行政法人国立病院機構

九州がんセンター

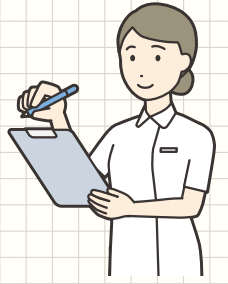
藤 也寸志

[問い合わせ先] 地域医療連携室 TEL 0277-44-7150

# 患者満足度調査結果報告

実施期間：令和5年9月11日(月)～9月29日(金)

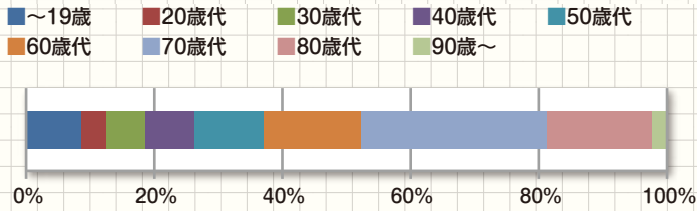
アンケート回収枚数：総計1,080枚 (外来 932枚 入院 148枚)



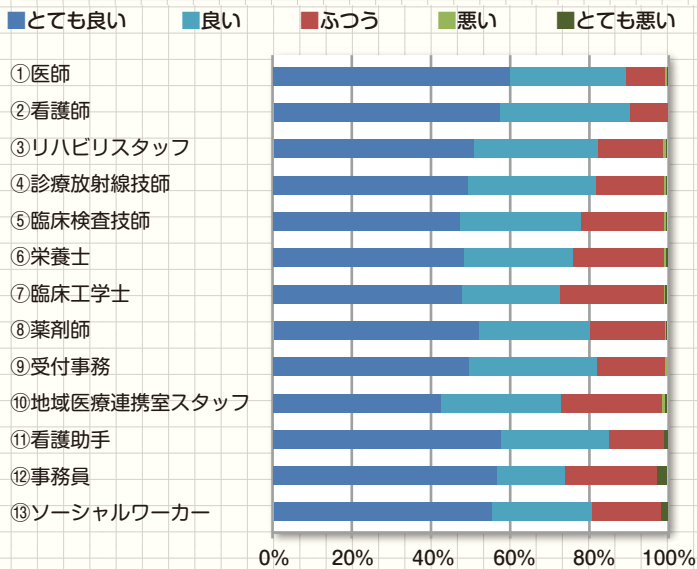
当院では、より良い患者サービスを皆様可以提供できるよう、令和5年9月に患者満足度調査を実施しました。この調査にご協力いただいた患者さんやご家族の方、誠にありがとうございました。満足度調査結果について概要を報告いたします。

医療ホスピタリティ推進委員会

## 回答いただいた患者さんの年齢

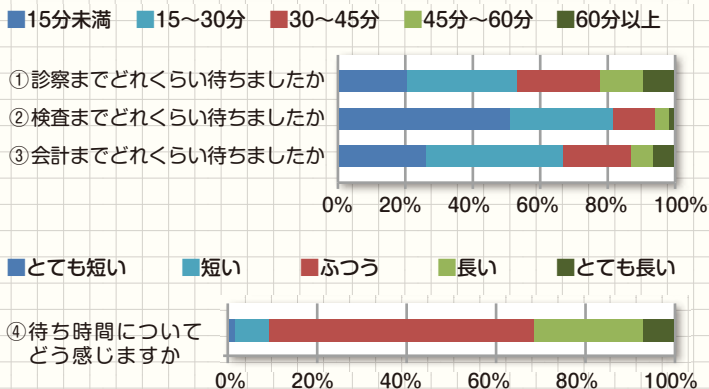


## 職員の対応・マナー・身だしなみについて



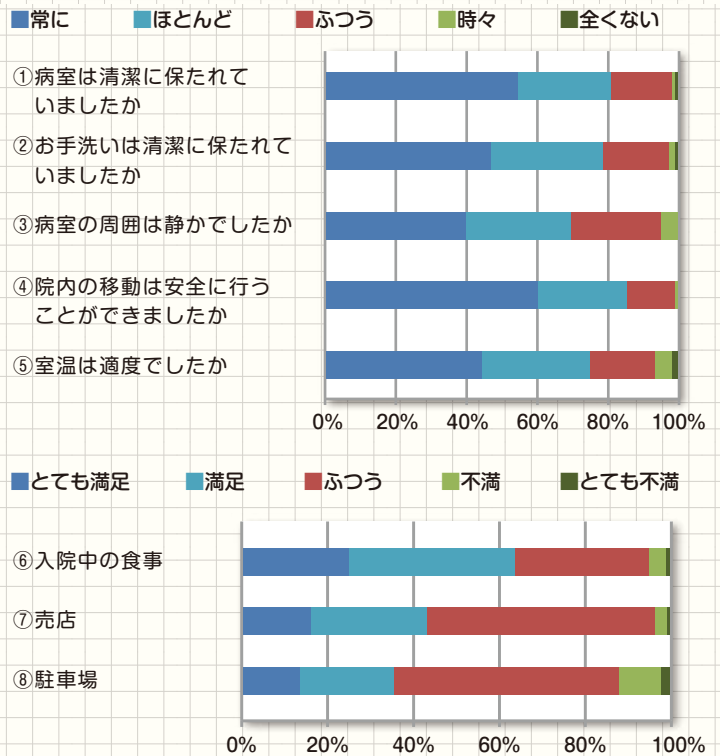
職員の対応・マナー・身だしなみについて、患者さんがどのように感じているか伺いました。結果はほとんどの職種で7～8割の方より「とても良い」、「良い」という回答が得られました。今後もさらなる改善を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

## 外来の待ち時間について



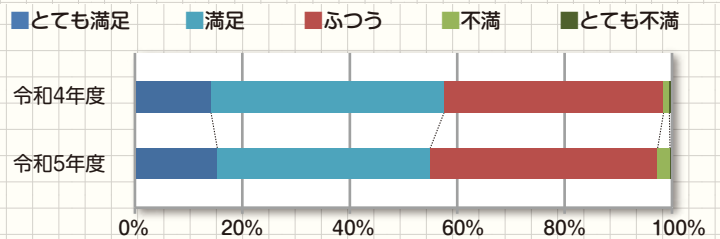
待ち時間について、昨年に引き続き、「短い」と感じている患者さんの割合は少ない結果でした。今後も待ち時間短縮のための工夫に取り組んでいきたいと思ひます。

## 施設、環境について

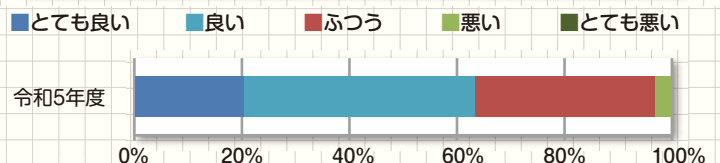


昨年と同様、病院の老朽化及び駐車場に対するご意見が散見されました。特に老朽化に対する解決には時間を要しますが、その分運用面で創意工夫をし、さらなる療養環境の改善に努めます。

## 昨年と比べた病院の満足度



## 病院全体の印象



昨年と比べた病院の満足度の割合と病院全体の印象について、「とても良い」及び「良い」の評価が減少しました。「不満」や「悪い」の印象についてのご意見を真摯に分析し、より満足いただける病院を目指します。